



2023年5月9日

各 位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ  
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ  
(コード番号: 2160 東証グロース)  
問合せ先 ビジネスマネジメント部 部長 中野 暁弘  
インベスターリレーションズ担当  
(TEL. 03-6214-3600)

### 連結子会社 Cullgen Inc. がアストラゼネカ-CICC ファンドをリード・インベスターとする 新しい資金調達で 4,000 万米ドル調達

株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）の連結子会社であるCullgen Inc.（以下「Cullgen」）が、アストラゼネカ-CICCファンドをリード・インベスターとする同社の新しい資金調達において4,000万米ドルを調達し、以下のプレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

[https://static1.squarespace.com/static/5b3fe5e4e74940738db89019/t/645956585073cd69981f6b47/1683576408807/Cullgen\\_Series\\_C\\_Investment\\_US\\_Release\\_final\\_5-8-2023\\_PDF.pdf](https://static1.squarespace.com/static/5b3fe5e4e74940738db89019/t/645956585073cd69981f6b47/1683576408807/Cullgen_Series_C_Investment_US_Release_final_5-8-2023_PDF.pdf)

Cullgenのプレスリリース主要部分の参考訳を以下に添付いたします。原文と内容の相違がある場合は、原文の内容が優先しますことをご了承下さい。

『標的タンパク質分解誘導技術の独自プラットフォーム「uSMITE™」に基づき、低分子治療薬を開発する大手バイオテクノロジー企業であるCullgenは、本日、新たに4,000万米ドルの資金調達を行ったことを発表しました。3,500万ドルのシリーズC資金調達ラウンドは、AstraZeneca-CICC Venture Capital Partnership（以下「AZ-CICC」）が主導し、Sincere Capital、Voyagers Capital、Wuxi Capital Group（ODI<sup>1</sup>承認待ち）のほか、既存株主のGNI Group Ltd.が参加しました。シリーズCラウンドに伴い、AZ-CICCはCullgenの取締役会に参加する代表者を指定する権利を有します。この資金調達と同時に、GNI Group Ltd.は、Cullgenの株式に対する未使用のワラントを行使することを選択し、Cullgenに500万ドルの追加資金がもたらされました。合計4,000万ドルの資金調達は、Cullgenの技術プラットフォームと、がん領域およびその他の疾患における標的タンパク質分解誘導剤の社内パイプラインの開発を支援するものです。

Cullgenの会長兼CEOであるイン・ルオ博士は、「今回の資金調達は、Cullgenの新しいE3リガンドを搭載した標的タンパク質分解誘導剤の有望なパイプラインの開発を加速し、がんと闘う患者さんに新しい治療方法を提供できる可能性があります」と述べています。「私たちはAZ-CICCの支援に非常に満足しており、また、Cullgenを世界的な標的タンパク質分解誘導技術を持つ企業と確信して下さった、すべての卓越した金融パートナーの方々に感謝しています」と述べました。』

<sup>1</sup> ODI: Outward Direct Investment（海外直接投資）

標的タンパク質分解誘導技術は、当社およびその関連会社（以下「当社グループ」）の創薬活動の中核をなし、当社グループの将来の発展を可能にする重要な技術です。当社はこれまでもCullgenを通して標的タンパク質分解誘導技術に投資をして参りました。2018年3月のCullgen設立時には当社がシードラウンド資金を提供し、それ以来、当社代表執行役社長のイン・ルオ博士がCullgenの社長も兼任し、2021年からは当社取締役のトーマス・イーストリングがCullgenのCFOを務めるなど、当社グループが財務面のみならず、経営面でもCullgenを支援して参りました。

上記の通り、今回のCullgenの資金調達では、当社グループの米国子会社であるGNI USAから追加で600万米ドル（8.0億円）出資すると共に、GNI USAが保有するCullgenの新株予約権500万米ドル（6.7億円）を行使いたしました。その結果、当社グループのCullgen持分は、今回の資金調達前の28.31%から、調達後の31.39%に増加しました。本出資による当社グループの今期連結業績に対する影響は、軽微です。

当社グループは、今後もCullgenを全面的に支援し、当社グループ内外との協力・提携を通じ、その標的タンパク質分解誘導技術を当社グループの医薬品事業の発展に最大限活用してゆく所存です。

以上

---

## 株式会社ジーエヌアイグループについて

株式会社ジーエヌアイグループは、東京証券取引所グロース市場に上場し、創薬、医薬品および生体材料の開発、臨床試験、製造、販売、医療機器の日本導入を支援するコンサルティング等を米国、中国、日本にて展開するグローバルヘルスケア企業です。詳細は以下の当社ホームページをご覧ください。

<https://www.gnipharma.com/>

## Cullgen Inc. (Cullgen) について

Cullgenは、有効な治療法がない疾患に対するファースト・イン・クラスの新規化学化合物（NCE）の開発を専門とする臨床開発ステージの非公開バイオ医薬品企業です。同社は、独自のuSMITE™（ユビキチンを介した低分子に誘導された標的タンパク質分解除去）プラットフォームを応用することで、作用部位の阻害を超えたドラッグ・デザインのパラダイムを拡張し、これまで医薬品の標的に成り得なかったタンパク質を選択的に分解することを可能にしています。Cullgenは、創業者によるプロテアソーム・システムに関する長年の研究とその機能の鍵となる発見を活用し、効果が高く、選択的、かつ生物学的に利用可能な、新しいE3リガンドを活用した標的タンパク質分解誘導化合物を複数創出することに成功しています。詳細は以下のCullgenホームページをご覧ください。

<https://www.cullgen.com/>

本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。

この文書は、当社の連結子会社であるCullgenのプレスリリースに関して日本にて一般に公表することを主目的としたプレスリリースであり、日本国内外を問わず投資勧誘等を目的として作成されたものではありません。